

みのかも定住自立圏共生ビジョン第4回変更（案）の経緯

1 みのかも定住自立圏共生ビジョン策定の経緯

平成20年6月27日	経済財政改革の基本方針2008閣議決定
平成20年10月28日	定住自立圏構想選考実施団体（22圏域）に決定
平成21年3月24日	中心市宣言
平成21年10月26日	坂祝町と協定締結
平成22年5月10日	みのかも定住自立圏共生ビジョン策定
平成22年9月30日	川辺町と協定締結
平成23年3月28日	富加町及び七宗町と協定締結
平成23年5月23日	共生ビジョン第1回変更
平成23年9月29日	白川町と協定締結
平成23年11月1日	共生ビジョン第2回変更
平成23年12月22日	八百津町及び東白川村と協定締結
平成24年4月2日	共生ビジョン第3回変更

2 共生ビジョンとは

共生ビジョン懇談会での検討を経て、連携町村との協議の上共生ビジョン策定します。共生ビジョンの記載事項は次のとおりです。

- 1 定住自立圏の名称及び圏域内市町村の名称
- 2 定住自立圏の将来像
- 3 形成協定に基づき推進する具体的取組
- 4 共生ビジョンの期間（5年間）

※共生ビジョンに基づく取組に対する財政措置を活用し、具体的取組を順次進めています。

※必要に応じ市町村間にて調整し随時変更を行います。

3 第4回変更が必要な理由

美濃加茂市は、平成21年から平成23年の3年間かけて7町村と丁寧に話し合いを進め、協定を締結してまいりました。

共生ビジョンについては、美濃加茂市と最初に協定締結した坂祝町の民間の事業者の方からなる懇談会委員及び推進会議・アクションプランWG委員、行政職員からなるプロジェクト会議委員による事業提案に基づき、最初の共生ビジョン具体的取組事業を策定しております。

その後、協定締結した町村の方を含めて懇談会とし、協定締結の都度、共生ビジョンを変更してまいりました。

こうした経緯から、みのかも定住自立圏の取り組みは、2008年リーマンショックの影響が大きくなる以前からはじめており、現在の社会的背景から実施が困難な事業がでてまいりました。

共生ビジョンは毎年度見直すこととしており、今回は、現状に即した内容に改めることとして変更を提案いたします。

4 変更の経緯

産業振興分野、交流・共生分野39 海外都市との経済交流の推進

- 平成24年9月18日 産業振興PT委員、町村担当職員に産業振興の今後のあり方について調査を依頼しました。
- 平成24年9月21日 回答まとめ
- 平成24年10月3日 推進本部第3回にて状況を説明し、ビジョン第4回変更の検討を進めることとしました。
- 平成24年10月11日 第2回懇談会にてビジョン第4回変更(案)の理由・概要を説明し、ご意見を承りました。
- 平成25年1月17日 産業振興分野PT委員、町村担当課長に意向調査を依頼しました。
- 平成25年1月25日 回答まとめ
- 平成25年1月31日 懇談会委員、推進本部委員、PT委員、市町村担当課長に意向調査を依頼しました。
- 平成25年2月19日 市議会第1回定例会議案説明会にて第4回変更(案)を進めていることを説明しました。
- 平成25年2月19日 回答まとめ、第4回変更(案)作成
- 平成25年2月22日 懇談会委員、推進本部委員、PT委員、市町村担当課長に第4回変更(案)を送付しました。
- 平成25年3月4日 回答まとめ 事業番号9の一部変更

交流・共生分野30 不登校児童生徒支援事業(八百津町から事業提案)

あじさい教室での学習に不応適な児童生徒がいた場合などに、不登校児童生徒の学習機会が拡大するよう、関係施設の活用や体験内容などを工夫することとしていますが、該当する児童生徒が存在しないため、事業としては動いていません。

美濃加茂市と八百津町は、定住自立圏を通じお互いの教育委員会において必要に応じ対応することは可能です。

- 平成23年12月22日 美濃加茂市と八百津町との協定締結項目の1つとなりました。
- 平成24年1月12日 美濃加茂市と八百津町の担当者にて協議しました。
- 平成24年10月1日 再度検討を要することになりました。
- 平成24年12月11日 事業部会を開催し、協議を重ねることとしました。
- 平成25年1月18日 事業部会を開催し、協定項目は残しビジョンからは削除することになりました。今後も双方の教育委員会において必要に応じ対応していくこととします。

※今後、懇談会、推進本部会議に諮り、また、総務省、議員、PT委員、市町村担当課にご確認いただき、変更を進めて参ります。